男鹿南中学校 校報　＜学校教育目標＞　夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 生徒の育成　令和５年１１月１日号

こだま

〒010-0521
男鹿市船川港南平沢字上大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
TEL/FAX 0185-23-3241/24-4947
https://edu.city.oga.akita.jp/ogaminami-jh/
校報通算　第282号

ぐろおがる・秋の実り豊かに

～男鹿の未来や活性化を考える南中生・男鹿の未来はわたしたちが築く～　「ぐろおがる」とは→

校 長　森 山 直 人

10/2（月） ぐろおがる講座Ⅳ 町の先生～「おがびと」さんに聞く　～岡住修兵さんをお迎えして～
～不可能なことはない！　利他であれ！～

今回お迎えしたのは、稲とアガベ、男鹿塩ラーメン「おがや」をオープンするなど、次々に新たな事業を立ち上げ男鹿駅前に新風を吹き込んでいる岡住修平さんです。北九州出身の岡住さんが秋田に来ることになったきっかけ、今チャレンジしていることやその実現に向けての想い、男鹿の未来への展望を熱く語ってくださいました。

◆不可能なことはない…一生懸命やれば周りも助けてくれる。困難を乗り越えられる。皆さんには無限の可能性がある。チャレンジして壁を突破してほしい。◆モットーは２つ。「どうせ死ぬ…その直前まで後悔しない生き方を。」「利他であれ…人のための方が力が出る。力が出せていると自分が思える人生を。」

「今、男鹿の地でわたしたちが行っていることが、世界中の都市の課題解決にも繋がっていく」という希望が湧いてくるお話に、生徒たちは胸をワクワクさせながら聞き入りました。男鹿の未来は自分たちが築くという意識が芽生え始めました。

▶▶ 生徒の感想から ▶▶▶▶

○将来男鹿から出て県内の他の場所に行こうと思っていたけれど、岡住さんのお話を聞いて船川に住みたいと思いました。岡住さんを手伝いたいです。

○男鹿の人口減少が進んでいることを知り悲しかったけれど、いつか世界に役立つ場所になってくれたらうれしいと思った。

○岡住さんのお話を聞いて私も地域に貢献し、地域を明るくしたいと思いました。そのためにまず人から応援されるような人になり、周りの人たちと協力できるようになりたいです。男鹿の元々のよさを生かしもっとよくするために頑張っている人たちを見て、自分も頑張りたいと思います。

学校報は、学校ホームページからご覧いただくことができます。南中生が活動する姿をたくさん掲載しています。どうぞご覧ください。

10/14（土） 秋田魁新報社主催秋田活性化中学生選手権中央地区大会へ出場！優秀賞を受賞し県大会進出！
北浦「うきた商店」の事業の特色を生かした男鹿の活性化プランをプレゼンテーションしました。

この選手権では、参加校が地元企業を訪問して考えた地域活性化プランを発表し、提案内容・プレゼンテーションスキル等を競い合います。本校から出場したのは２年生チーム４名。夏休みに北浦「うきた商店」を訪問し、浮田社長から事業についての説明や北浦に商店を構えた思いなどをうかがい、そのお話を受けての発表でした。

提案した活性化プランは三つ。①ＳＮＳを活用した情報発信、②配達・運送方法の工夫、③空き家・空き地の活用です。審査員のみなさまからは「浮田社長のふるさとの力になりたいという思いに寄り添っていて、実現性の高い提案だった」「ナマハゲに扮しての寸劇も交えていてプレゼンテーション力が高く、企業への愛が感じられた」とのあたたかい講評をいただきました。

南中チームはこのあと11月11日に行われる全県大会に出場します。応援よろしくお願いします。

浮田社長ご夫妻と

ナマハゲさんも登場

11月1日は「あきた教育の日」です。子どもたちがやがて県内外で秋田の発展を支える人になることを願い、学校・家庭・地域・企業などが連携、協力しながら子どもたちを育てていく認識に立って設けられました。地域やご家庭でも「秋田の子どもの今や未来について」考える機会としていただければと思います。